

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|---------------------|------------|-----------------|
| 事業所番号 | 4270300421 | | |
| 法人名 | 有限会社グループホームふるさとの家 | | |
| 事業所名 | グループホーム「城下」しまばら | ユニット名 | |
| 所在地 | 長崎県島原市新湊二丁目丙1740番地1 | | |
| 自己評価作成日 | 2022年 8 月 25 日 | 評価結果市町村受理日 | 2022年 12 月 13 日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/42/index.php?action_kouhyou_mref_topji%20page%20index=true |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|------------------------|-------|---------------|
| 評価機関名 | 一般財団法人 福祉サービス評価機構 | | |
| 所在地 | 福岡市中央区薬院4-3-7 フローラ薬院2F | | |
| 訪問調査日 | 2022年 10 月 31 日 | 評価確定日 | 2022年 11月 18日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者やご家族が安心していただけるよう、お一人お一人の生活歴を全職員が十分に把握し、その方に合った日常生活をしていただき、自由な時間を楽しく過ごしていただいています。毎日の活動として施設独自の大人の学校、音楽療法を行い、ドライブなども取り入れながら生活してもらっています。デッキでの食事会の回数を増やし、自分たちで育てた野菜などを使用し、喜びを感じてもらいながら四季折々の行事として取り組んでいます

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

“グループホーム「城下」しまばら”の玄関には、ご利用者が書かれた理念を掲げており、理念の周囲には全てのご利用者で手作りしたバラが飾られている。コロナ禍の様々なご苦労を経験する中、1日1日を精一杯過ごしてこられ、理念である「老いても障害を持っても自分らしくあたり前に普通に暮らしたい」を大切にしてください。ご利用者の生活歴を更に教えていただき、有する能力や特技を生活の中で発揮して頂くとともに、ご利用者同士の助け合いも行われている。「城下」農園で季節の野菜を育て、3食美味しい食事が作られ、ご利用者も包丁で皮むきをして下さり、盛り付けや下膳、食器拭き等もして下さる。季節行事も大切にされており、クリスマスにはホームの外にイルミネーションを飾られている。夏はすいか割りや花火等を楽しみ、ご利用者の指導のもと、干し柿作りや甘酒作り、梅干し作りを行い、ご利用が主役になれる生活が行われている。穏やかに過ごされている方ばかりで、入居後間もなく、ご自分から家族に「心配しないでよか」と笑顔で話される姿も見られている。今後も職員個々のコロナ禍におけるストレスに向き合い、働きやすい環境作りに繋げると共に、法人全体の更なる資質向上への取組みを継続していく予定である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 | ↓ 該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 | ↓ 該当するものに○印 |
|----|---|-------------|----|--|-------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25) | ○ | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19) | ○ |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38) | ○ | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20) | ○ |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38) | ○ | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4) | ○ |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37) | ○ | 66 | 職員は、生き活きと働いている (参考項目: 11,12) | ○ |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49) | ○ | 67 | 職員から見ると、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31) | ○ | 68 | 職員から見ると、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目: 28) | ○ | | | |

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|-----------------------------|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている | 毎日朝礼時に唱和し全職員で共有し実施している | 開設時に作られた理念を大切にされており、ご利用者個々の生活歴や生活習慣を教えて頂き、「自分らしく普通に暮らしたい」という実践に繋げている。昔の仕事を活かして出納帳をつけてもらったり、漁師の仕事をされていた方が網の修理をして下さっている。野菜や花を育て、調理等も一緒に楽しんでいる。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域防災避難訓練へ各施設の防災委員が必ず参加している | 朝、登校する子ども達と挨拶をしている。道路向かいの方から切り花を頂き、プランターに苗も植えて下さり、ホームからも手作りの饅頭や野菜等をお返ししている。法人内施設（放課後等デイサービス）の子ども達との触れ合いもあり、敬老会では子ども達から作品贈呈会も行われ、高校生の実習の受入れも行っている。コロナ以前は八幡神社のお神輿がホームに来て下さり、ご利用者もお賽銭を入れたり、ご利用者と地区の運動会やお祭り、鬼火に参加していた。 | コロナ以前は地区の運動会やお祭り等に参加できていた。今後も地元の方々や安仲保育園との交流方法を検討したり、毎年参加している市民清掃時（年2回）に、より広く2丁目の住民の方々にご挨拶し、更なる地域交流を行っていきたいと考えている。 |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 高校生の実習の受け入れを行っている | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議で施設の新聞等を配布して内容を説明している | コロナ禍の2年間、通常開催を6回、書面開催を4回行っている。地域の方々にホームの取り組みを理解して頂き、災害対策（自然災害等）も話し合い、地域情報も教えて頂いている。地域包括の方からのアドバイスもあり、書面開催時のお返事シートを作成し、更なるご意見を頂くようにしている。 | |

| 自己 | 外部 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----|-----|---|--|---|--|
| | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 市町村担当者から連絡はないが、代表の知り合いが市町村職員にたくさんいるのでその方々より情報は来ている | 代表が感染対応等を市や県に相談し、管理者も防護服の確保等に尽力された。地域包括支援センターの方が運営推進会議に参加して下さり、アドバイスを頂いている。高校生（福祉科）の実習も受入れ、ケア等の実践訓練に協力し、島原市GH連絡協議会の運営に管理者が携わり、研修担当の役職を担っている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定期準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 委員会を設置し、年4回の会議、研修等を行い身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 各施設（介護）の身体拘束廃止委員会を中心に、身体拘束廃止・虐待防止委員会（年6回）、勉強会の中で事例検討を続けている。法人内の身体拘束廃止委員による施設訪問チェックも行い、職員のストレスケア等も続けている。ご利用者への日々の寄り添いの中で真意を汲み取り、個別ケアに繋がると共に、生活歴を活かした役割を担って頂いている。穏やかな生活となっており、ご利用者同士の助け合いも行われている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 法人内研修に参加し日頃から言葉や身体的虐待がないよう管理者・全職員が注意している | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 行政担当の方からお話を聞く機会があり理解を深めている | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 代表や管理者が相談時に詳しく説明をし理解納得をしてもらえるよう努めている | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご家族の面会の際、お気づきになられた点や意見などをおたずねしている | 運営推進会議に家族代表の方が参加して下さる。コロナ禍においてもリビング外の縁側や窓越しで面会したり、電話連絡を続けている。新聞（2か月に1回）と職員の手紙（毎月）と共に、写真を郵送し、日々の暮らしぶりを報告しており、管理者が個別に家族とお話する時間も作られている。 | |

| 自己 | 外部 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|--|---|
| | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 管理者会議やスタッフ会議に代表が参加して要望を聞き出す。 | 管理者を中心に結束できるよう努めてこられ、代表と会話する機会も毎月ある。年間目標・3カ月毎の目標を作り、2022年10月～12月の目標は「心に余裕を持ち、利用者様には笑顔で接し、明るい環境を作る」を掲げている。職員の要望もあり、日・祭日に出勤した人には手当をつけたり、子育て中の職員等の勤務時間の調整もしている。 | 今後も更なるケア技術の向上と職員同士の協力体制を強化し、個々のケアを最後まで完結させていく仕組みを作る予定である。職員間の言動の振り返りも継続し、更なるチームワーク作りを全員で考え、職員個々の育成に繋げていければと考えている。 |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 生活環境に合った労働条件で雇用し有資格者には手当をつけてくださる。またいろいろな手当をつけてくださる | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | コロナ感染症が流行して以来、外部研修が少なくなり、法人内研修で勉強の機会を作っている | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | コロナ渦で交流の機会がない | | |

| 自己 | 外部 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|------------------------------|-----|--|---|--|--|
| | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 利用者への聞き取りや、基本情報を基に必要とされる支援を確保し安心して過ごされるよう努めている | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族の心配事や困っていることなどを聞き取り信頼関係が保たれるようしている | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 基本情報から情報を収集し、アセスメントを行いケア会議で必要とされている支援を見極めて支援している | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 家事作業など出来ることは一緒にしていただき、会話と通じてお互い奇策に接することが出来るよう支援している | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族の思いやご意見をしっかりと聞き職員の思いも伝え全職員で共有し共に支えて行ける信頼関係が築けている | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 馴染みの方の訪問時にはゆっくり過ごしていただけるよう支援している | 前回の外部評価以降、ご利用者個々の生活歴を更に理解し、日々のケアに繋げてこられた。ご利用者から風習や慣わしを教えて頂き、野菜の収穫等もして下さる。終末期等は家族との時間を大切にされており、初正月に外泊された方もおられる。コロナ以前は、お祭りの時に知人との再会を楽しまれていた。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 会話が困難な方は、職員が間に入り顔だけでも合わせるように覚えてもらっている | | |

| 自己 | 外部 | 外部評価 | |
|------------------------------------|---|---|--|
| | | 自己評価 実践状況 | 実践状況 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 必要に応じてご家族や担当者には情報を提示し生活方法などの助言に努めている | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 23 | (9) ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ご利用者の希望や意見に添えるように努めている。コロナ渦で困難な場合もあり極力要望に添えるようにしている | ゆっくりとご本人の思いを伺うと共に、表情や行動、しぐさなどを観察することで、思いの把握ができるように努めている。「甘いものが食べたい」「ずっとここ（ホーム）にいたい」「味噌ラーメンが食べたい」等の思いを伺い、叶えるようにしている。 |
| 24 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 基本情報や生活歴により馴染みの暮らし方を把握し施設でもこれまでの暮らしが継続できるよう支援している | |
| 25 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | ご利用者の健康状態や表情を朝礼時に報告し状態の把握を行い無理なく過ごしていただけるよう支援している | |
| 26 | (10) ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 月一回のモニタリングや毎日の生活の中で気づきや課題とケアのあり方について話し合いご家族の意見も参考にして介護計画を作成している | 「基本情報3（なじみの暮らし方情報）」に「元気だったころ」「現在」「できれば続けたい」を分類し、更なる生活歴を増やしてこられた。居室の掃除や廊下のモップかけ、新聞折り、洗濯物たたみ、家庭菜園等の役割と共に、音楽療法や「大人の学校」、歩行訓練や玄関の階段昇降、散歩、ドライブも盛り込み、モニタリングを続けている。今後も看護師等のアドバイスを3表に追記予定である。 |
| 27 | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 介護記録の記入時、大切なところは色を変えて書くようにしている | |
| 28 | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 一人一人の状況に合わせ、支援させていただいている | |

| 自己 | 外部 | | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | コロナ禍で回数は減ってきているが、感染防止を行いドライブに出かけ暮らしを楽しむことができるよう支援している | | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | できるだけ本人の希望するかかりつけ医にできるようにしている | 24時間体制で管理者、代表、主治医等に相談でき、夜中も往診して下さる。法人の看護師から適宜指示を受ける事ができ、家族との情報共有（毎月の手紙や電話）もできている。医師の指示のもと、日々職員が自薬や内服等の管理を徹底し、次第に元気になれる方が多い。 | | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 異変時に連絡し受診が必要であれば主治医へ連絡し受診している | | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時には情報提供を行い入院中状態などを病院に尋ねている。退院後も病院との連絡を行っている | | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入所前に看取り支援の説明は行っている。看取り希望の場合や重度化の恐れがある場合などは、ご家族や主治医、管理者で十分に話し合い希望に添えるような支援をしている | 全員の方が「最期までここで」と希望されており、体調変化に応じて家族との話し合いを続けている。主治医も24時間体制で訪問して下さり、急変時は法人内の看護師や管理者も駆けつけて下さり、訪問看護も利用できる。必要時にかかりつけ医の看護師が点滴して下さい、コロナ禍も家族と一緒に誠心誠意のケアが行われている。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 会議などでも話し合い急変時の対応など想定するようにしている | | | |

| 自己 | 外部 | | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。また、火災等を未然に防ぐための対策をしている | 年6回以上風災害、防災訓練を実施している。消防署や消防団の協力参加している | 防災委員がBCP（業務継続計画）ガイドラインを作成している。夜間想定で自主訓練（年6回）を行い、年2回は消防団・消防署・地域の方と4棟合同の避難訓練をしている。各棟の代表（男性職員）が災害対策を毎月検討し、地域の避難訓練にも参加している。防災頭巾、水、食料、災害バックや独自の持ち出し品、災害時に受け入れる系列事業所の利用者情報シート、個人情報一覧を準備し、避難してこられた方用の寝具も3組準備している。夜勤者が防火自主点検チェックを続けている。 | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | ご利用者を尊重し声掛けや言葉かけをゆっくり丁寧に言い態度には十分に注意して支援する | トイレ誘導時や介助時、入浴時等の声かけに配慮している。羞恥心に配慮し、脱衣時にはタオルをかけて対応している。ご利用者の自慢話等に相槌を打ち、ご本人が優越感を感じる声かけを行い、ご利用者個々を主役にできるように努めている。島原の優しい方言を使い、声の強弱やトーン、話す早さにも注意している。個人情報管理も徹底している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 何気ない会話の中でご利用者が自己決定したりできるような場面づくりを心がけている | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 業務より利用者優先を常に心がけ個々の体調をしっかりと把握し体調を考慮しながら希望に沿った支援に努めている | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 衣類や髪形など利用者の好みを尊重しその方らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している | | |

| 自己 | 外部 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|--|
| | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | ご利用者の好みを把握し、おいしく食事を食べて頂き、楽しい食事時間を提供できるよう支援している | 3食とも手作りしている。1日・15日は赤飯が恒例で、季節に応じた食事も作られている。ご利用者がゴマをすり、手作りのごま豆腐も好評で、各種行事にはバイキングを行い、夏のそうめん流しも楽しまれている。ご利用者も包丁で皮むき、盛り付け、下膳、食器拭き等をして下さり、デッキで昼食をする機会も作られている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | ご利用者の状態もそれぞれ異なるので状態に応じた形態を提供し栄養も十分にとれるよう努めている | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 利用者それぞれの力に応じた支援を毎食後行い口腔内の清潔保持に努めている | | |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄表を活用し早めのトイレ誘導を行っている | 下着を着用し、トイレで自立している方も複数おられ、職員は清拭タオルを準備し、さりげなく見守りしている。排泄パターンを把握し、早めにトイレ誘導を行う事でパッドの使用枚数が減り、リハビリパンツから下着に変更できた方もおられる。排泄後は温かいタオルで清拭している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 繊維の多い食材の使用や乳製品の使用を心がけている。又体操や運動で便秘の予防に取り組んでいる | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 個々の利用者の体調を見ながら支援している | 2018年に浴室のリフォームが行われ、手すりも増え、滑り止めの床になり、見守り程度で浴室移動できる方が増えている。入浴好きな方が多く、時間帯や湯温等の希望に応じ、湯船に浸かり、職員と会話し、菖蒲湯や柚子湯等も楽しまれている。体調に応じて2人介助も行われ、同性介助も行われている。 | |

| 自己 | 外部 | | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に 応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | ご利用者の生活習慣や状況により休息して いただいたり、寝具類は定期的に日光に干し洗濯を行い気持ちよく休んでいただいている | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の目的や副作用、用法は服薬管理表の説明書で確認し理解している | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 個々の生活歴から小物入れ制作、編み物、出納帳付けをしていただいている | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | ドライブに出かけたり近隣の公園や外庭の散歩を支援している | フラワー公園でのお花見や、島原外港のイルミネーション見学、系列の子どもデイとの交流も行われている。週2～3回、ご利用者と湧き水を汲みに行かれたり、海や山のドライブ、季節の花見も楽しまれている。買物にお連れし、部屋に飾るお花を選んでいただいたり、八幡神社の初詣も恒例になっている。 | |

| 自己 | 外部 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|--|
| | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 基本的には金銭管理は行っていない。施設の行事では金券を使って買い物できる楽しみを支援している | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話の希望があれば支援している | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 常に換気を行い季節の花や利用者の作品を飾ったりしている | 玄関の階段で昇降訓練をされたり、玄関からの長い廊下で歩行訓練をされる方もおられる。リビングと台所が一体化し、外にはデッキもあり、思い思いの場所で過ごされている。城下体操や城下音楽療法も行い、法人の文化祭に出展する作品作りも楽しまれている。ご利用者が庭で摘んだ花をリビングの神棚に飾って下さり、水の取り換えもして下さる。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ご利用者が思い思いに過ごせるようにデッキや廊下にも椅子をおいている | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 自宅で使用されていたものを自由に持ち込んでいただき、使い慣れたものを生かして心地よく過ごせるよう支援している | 居間はベッドの布団を押し入れに収納し、昼寝の時などは再度布団を敷かれている。自宅からタンスやスタンド、机、いす、シルバーカー、編み物の棒などを持ち込まれ、家族の写真も飾られている。コロナ禍、作品作りに取り組みされており、ご自分の部屋に飾られている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 居室入り口には大きな名札を張り、各場所にも大きな文字で表示している | | |